

山陽小野田市健康づくり推進協議会議事録

会議の種類	平成25年度第3回山陽小野田市健康づくり推進協議会		
日時	平成26年2月27日(木) 19:00~20:30		
場所	小野田保健センター		
出席者	小野田医師会	松岡 彰 (会長)	
	山陽小野田市社会福祉協議会	沖野 浩 (副会長)	
	小野田歯科医師会	多原康成 (委員)	
	厚狭歯科医師会	嶋田 修士 (委員)	
	山陽小野田薬剤師会	福田 雅子 (委員)	
	山陽小野田市ふるさとづくり協議会	杉本 保喜 (委員)	
	山陽小野田市連合女性会	井上 幸子 (委員)	
	母子保健推進協議会	吉田由美子 (委員)	
	山陽小野田市食生活改善推進協議会	半矢 幸子 (委員)	
	山口宇部農業協同組合	笹木 伸子 (委員)	
	山口県栄養士会宇部地域専門部会	坪河 蓉子 (委員)	
	一般公募	曾瀬 護 (委員)	
	(出席者数 12人)		
欠席者	厚狭郡医師会	中根比呂志 (委員)	
	山陽小野田市自治会連合会	藤田 正人 (委員)	
	山陽小野田市老人クラブ連合会	笹尾 新太郎 (委員)	
	山陽小野田市小・中学校PTA連合会	河村 和彦 (委員)	
	山口県看護協会小野田支部	中村由美子 (委員)	
	山口県歯科衛生士会小野田支部	新藤 悦子 (委員)	
	一般公募	原田 静江 (委員)	
	(欠席者数 7人)		
オブザーバ	山口県宇部健康福祉センター	山崎 千鶴代	
事務局	健康福祉部長 田所 栄	健康増進課長	兼本 裕子
	健康増進課技監 山根 愛子	健康増進課課長補佐	木本 順二
	健康増進課課長補佐 河野 静恵	成人保健係係長	石井 尚子
	健康企画係係長 岡村 敦子	健康企画係主事	竹森 和貴

<p>1. あいさつ 2. 新委員紹介 3. 議 事</p>	<p>健康福祉部長あいさつ</p>
<p>議 長</p>	<p>(1) 第4回SOS健康フェスタについて (報告) 資料1 (2013年山陽小野田市SOS健康フェスタ来場者アンケート集計結果) の説明 資料2 (2013年山陽小野田市SOS健康フェスタ出展団体アンケート集計結果) の説明 SOS健康フェスタについて質問、意見等ないか。 医師会では骨密度測定器を2台準備したが、来場者の待ち時間が長くなってしまい、整理券を配ることで対応した。血管年齢測定を市で実施していたため、血管年齢測定の結果が良好でない方に対して医師会のブースに来ていただくという流れになった。市の血管年齢測定器は1台で対応していたため、来場者を長時間待たせることになった。血管年齢測定器の台数を増やすことは可能か。 国保年金課で実施したため、血管年齢測定器の台数を確認して対応する。</p>
<p>事 務 局 議 長</p>	<p>今回のSOS健康フェスタは多くの来場者があり良かった。次回の開催へ向けて頑張っていきたい。</p>
<p>議 長 委 員</p>	<p>(2) 山陽小野田市食育推進計画中間見直し (案) について 資料3 (山陽小野田市食育推進計画 (改訂版) (案)) の説明 意見、質問等ないか。 計画案の31頁の課題の整理のなかに、「朝食摂取については、特に20～39歳男性の摂取率が低いため、朝食摂取の大切さを理解し、毎日朝食を食べることで、規則正しい食習慣を身につけることが大切です。」とある。山陽小野田市では、「早寝、早起き、朝ごはん」というテーマを子ども達へ教えている。そこで、何故、朝ごはんを食べることが大切なのか、市民へ伝わる資料を付け加えて欲しい。朝ごはんを食べると仕事も勉強も集中できると思う。若い女性が朝、パンを食べながら車の運転をしているのを見かけることがあるが、幼い頃から、朝ごはんを食べるように子どもと親に対して教育することや、朝ごはんをしっかり食べようという雰囲気づくりを促すような資料があると良い。</p>
<p>議 長</p>	<p>18頁の「朝食摂取の状況について」を確認すると、小学校5年生と中学校2年生では朝食を食べている子どもが平成23年と比べて増加しているが、20歳以上になると減少している。このことも含めて、事務局から意見等ないか。</p>
<p>事 務 局 委 員</p>	<p>計画の中には、行事食・郷土料理の紹介や食育に関するコラムを載せている。このスペースを活用して、朝食の大切さを伝えていく。 できる限り、具体的な内容で朝食の大切さが伝わるものにして欲しい。</p>

議	長	歯科医師会から何か意見等ないか。山陽小野田市の虫歯について最近の状況はどうか。	
委	員	改善されているとはいえない。結果を出そうと考えれば、やはり予算面でも行政との協力が必要不可欠である。	
委	員	野菜の摂取に対して市民の意識が低い。市民の意識を向上させるため、ねたろう食育ランチョンマット、ねたろう食育カレンダーやねたろう博士養成講座などの取組みをしっかりと家庭に普及させていくことが大切だと思う。例えば、ねたろう食育ランチョンマットを全市民に配布するようにできないか。	
事	務	局	食育の普及のための予算要求は実施しているが、厳しい状況である。その分、担当課が工夫して、様々な対応を行なっている。
委	員	ねたろう食育ランチョンマット一枚ですら、全市民に配布できないという状況は改善していただきたい。	
事	務	局	ねたろう食育ランチョンマットは、ねたろう食育博士養成講座等に参加した方には配布している。また、幼稚園、保育園、小中学校への配布は出来ていないが、食育ネットワークにおいて、ホームページから印刷し、食育の教材として活用していただいている。
委	員	市で利用している封筒には市内企業の広告を載せ、広告料を取っている。このように、ねたろう食育ランチョンマットや、ねたろう食育カレンダーについても市内の食品会社等をスポンサーとすることで、全市民への配布を実現できるのではないか。	
事	務	局	現在、健康増進課において、がん検診のクーポン券発送に使用する封筒には広告を公募している。公募という形式であれば、実現可能であると思う。
委	員	現在のラミネートしたねたろう食育ランチョンマットは素材が硬いと思う。ランチョンマットの素材をもっと軟らかくする等の工夫をし、子どもを親も安心して使用できるよう工夫してはどうか。	
議	長	ラミネート以外のねたろう食育ランチョンマットもあるのか。	
事	務	局	ラミネート以外での配布は、使い捨て用（紙ベース）でしか配布していない。
議	長	ラミネートだと、硬く感じるし、滑ってしまう。このままでは普及は難しいのではないか。	
委	員	ねたろう食育ランチョンマットの本来の目的は、より多くの方に正しい配膳を実践していただき、食育や健康づくりについて考える機会を作ることである。このランチョンマットが食育について考えるきっかけになることを期待する。	
委	員	正しい配膳を学ぶことは大切なことだと思う。	
委	員	まずは、より多くの方にねたろう食育ランチョンマットを普及できるようにすることが必要である。	
議	長	企業への公募の件も含めて、食育の普及に取り組んで欲しい。	
委	員	ねたろう食育養成講座の受講の証となるようなバッチは作成しているか。	

事務局	作成している。
議長	(3) 平成26年度すこやか山陽小野田(保健事業)(案)について資料4(平成26年度すこやか山陽小野田)の説明何か意見等ないか
委員	中学校の医務室等にも配布し、保健指導等の際に活用してもらおうと良い。最近では十代の若者の性交渉によるトラブルが多い。16歳で妊娠したというケースもあったと聞いた。中学生の女の子が、万が一、妊娠をしたときのためにも、市には母子健康手帳の配布や妊婦健診等を実施しているなど、受け入れ体制が整っていることを認知してもらおうことが大切である。
議長	すこやか山陽小野田を保健指導に活用してはどうかということに対して何か意見等あるか。
事務局	現時点では教育委員会には、すこやか山陽小野田を配布しているが、具体的な学校には配布していない。この件については、教育委員会と相談させていただく。すこやか山陽小野田を保健指導に活用してほしいという働きかけではなく、情報提供をするという形で、教育委員会に相談し、対応させていただく。
議長	すこやか山陽小野田は全戸配布を実施しているか。
事務局	すこやか山陽小野田の全戸配布は実施していない。食生活改善推進員、母子保健推進員、健康推進員の皆様に地域への配布をお願いしている。これに加えて、市の保健事業、公民館等でも配布している。
議長	何部、発行しているか。
事務局	15,000部
委員	病院等にも配布しているか。
事務局	市内のほとんどの医療機関(SOS健康ステーションに登録してある病院)に配布している。
委員	今年度から、すこやか山陽小野田の全戸配布ができなくなった。先ほど、食生活改善推進員、母子保健推進員や健康推進員の皆様に地域への配布をお願いしているとあったが、やはり、全戸配布を希望する。全戸配布ができないのであれば、各家庭へすこやか山陽小野田が配布されるよう、工夫するべきである。毎月、保健事業は広報で掲載されるが、より保健事業を市民に知っていただくには、全戸配布、又は、これに代わる新たな取り組みが必要だと考える。
事務局	すこやか山陽小野田の配布については、より多くの家庭に行きわたるように様々な組織に協力を要請する。しかし、来年度については15,000部の発行にし、全戸配布については今後の課題とさせていただく。
委員	どうして全戸配布できないのか。
事務局	全戸配布の協力を得ることができない。また、郵送するには経費負担が大きい。
委員	すこやか山陽小野田は保存用として全戸配布するべきものである。

事務局	このような意見を頂けることは大変ありがたい。
委員	ホームページからダウンロードできるか。
事務局	可能である。
委員	わざわざ、ホームページを開き、ダウンロードするのは、かなり意識が高い人だけである。広報等にあまり興味を示さないであろう若い夫婦の家庭等にも、市の保健事業について知っていただくためにも、すこやか山陽小野田を全戸配布するべきである。
事務局	若い夫婦の家庭にもすこやか山陽小野田を配布するため、母子手帳交付時や転入届を受理する際にも、すこやか山陽小野田を配布している。
委員	すこやか山陽小野田の配布時期はいつ頃か。
事務局	4月上旬を予定している。
議長	すこやか山陽小野田が全戸配布できるようにしていきたい。
委員	健康手帳とはなにか。
事務局	40歳以上で希望される市民の方に配布する、健診の結果や健康に関する記録が5年間できる手帳である。
議長	健康手帳はどこでもらえるのか。
事務局	保健センターや家庭訪問等の際に無料で配布している。自分の身体に関する検査結果や投薬状況等を記録していくことで、救急車に乗ることになった際や、違う診療科にかかった時などに自分自身の体に関する情報提供のツールとして役に立つ。
議長	健康手帳を有効に活用していければ良い。
	健康体操は1時間から1時間半も体操を続けるのか。
事務局	体操をずっと続けるわけではない。基本的には音楽に合わせて体操(30分～40分)、休憩、最後にもう一度体操という内容である。
委員	指導者が常に付いているというわけではないのか。
事務局	健康推進員等が指導役を務める。初めの2年間は毎回、市の保健師が指導者として出向き、体操の注意事項等を参加者に理解していただく。その後次第に、市民の方のみで健康体操を実施できるよう支援をしていくという体制をとっている。
委員	健康体操のように市民が集まることができる場所があると引きこもり予防にも効果があると感じる。
事務局	健康体操に参加されて、体操で身体を動かすだけでなく、仲間同士の会話を楽しんでいる姿なども良く見かける。参加してくださった方が来てよかったなと感じていただけるような取り組みであると感じる。
委員	健康推進員はどのように募集しているのか。
事務局	健康づくりに興味を持たれている市民の方であれば、どなたでも健康推進員になることができる。健康推進員養成講座(月に1回×6か月)を受講していただいた後、健康づくりにご協力いただくという形である。
委員	何名くらい健康推進員を養成しているのか。
事務局	昨年度は30名程度である。
委員	募集は広報等での公募によってか。

事務局	公募であるが、口コミによる効果も大きい。
委員	健康推進員になろうという方は健康に対する意識が高いか。
事務局	意識は高い方が多い。実際に担当している保健師も良い刺激を受けている。
委員	すこやか山陽小野田に掲載されている健康推進員養成講座の日程表の数字が日付であると分かりにくいので修正した方が良い。
事務局	数字に「日」を付けるよう、修正する。
委員	健康推進員の活動は大変興味がある。市民が、すこやか山陽小野田の内容を全て理解しようとするのが難しいと感じる。例えば、自治会等での集会にその地域の健康推進員に出席していただき、すこやか山陽小野田に記載されている市の保健事業について説明をしてもらうことは可能か。
事務局	可能である。紙面のみからの情報よりも健康推進員から口頭で伝えたほうがより理解しやすくなると感じる。
委員	予防接種についてだが、対象年齢内であれば無料で予防接種を受けることができるということか。
事務局	高齢者インフルエンザ予防接種以外は、そのとおりである。
議長	子宮頸がんの予防接種についてはいくつかの問題があるため、積極的に接種を進めることはしないということではどうか。
事務局	そのとおりである。
議長	予防接種についてもしっかりと、取り組んでいってほしい。
オブザーバー	(4) その他 がん検診受診率向上について がん検診受診率向上のため、職域への受診勧奨を事業所単位で要請していくことが重要だと感じているのでご協力をお願いしたい。
オブザーバー	禁煙について 現在、公共の場での全面禁煙や施設内禁煙の実施を進めているが、今後、出入口付近での禁煙を勧めていきたい。受動喫煙防止のためにも、出入口付近から10mは喫煙所を置かないというルール(10mルール)を守っていただけるように声掛け等の御協力をお願いしたい。すでに、本市の健康推進員の方々には喫煙防止普及員としてPRしていただいている。
議長	市役所の出入口の喫煙所は無くすべきである。
事務局	担当課に指導はしている。
議長	禁煙を訴える市役所で喫煙所が出入口付近にあるのはおかしい。ぜひ、移動していただきたい。
委員	10mルールを守った場所に大きな喫煙所を設置すれば、喫煙者も煙草を吸うことができるし、受動喫煙を抑えることもできるのではないか。
議長	禁煙対策として、PM2.5の説明をすると効果的である。現在、PM2.5の警報は30マイクログラムを超えると出されている。大気汚

<p>委員</p> <p>事務局</p> <p>議長</p>	<p>染が進む北京でのPM2.5の値は500マイクログラムである。これに対して、車内で煙草を一本吸った際のPM2.5の値は1000マイクログラムである。PM2.5をひとつの指標として、受動喫煙の恐ろしさを市民に伝えていきたい。</p> <p>受動喫煙の子どもに対する被害の中に肺炎、喘息の他に中耳炎が入っているのは何故か。</p> <p>タールなどの物質が耳の中に付着し、免疫力が落ちる等の理由が考えられる。アトピーや喘息になることも多い。喫煙は止めたくても止められない依存性がある。現在は禁煙を助けてくれる良い薬があるので活用していただきたい。</p> <p>他に意見等あるか (意見なし)</p> <p>次回開催予定 6月26日(木曜日) 18時00分～ 小野田保健センター</p>
--------------------------------	---